

消化器外科で過去に転移性肝臓に対する肝切除手術
を受けられて通院された患者さんまたはご家族の方へ
（臨床研究に関する情報公開文書）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年3月23日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和4年3月10日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道大学病院生命・医学系研究倫理審査委員会で承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

〔研究課題名〕

転移性肝臓に対する肝切除施行症例の短期・長期成績の検討

〔研究代表機関名・長の氏名〕

北海道がんセンター 院長 平賀 博明

〔研究代表者名・所属〕

北海道がんセンター 消化器外科 医師 原田 拓弥

〔共同研究機関名〕

北海道大学病院 消化器外科 I 旭 火華 機関の長：南須原 康行

〔研究の目的〕

転移性肝臓に対する手術療法は、原疾患の多様性からガイドライン間でも適応に差異を認める。当院では比較的早期から転移性肝臓に対する肝切除を行っており、その長期成績の蓄積もある。それらの症例を後方視的に検討して、長期生存を得られた症例や、生存期間・再発に影響を与え得る因子の検討は今後の転移性肝臓治療に有益な情報を付加することが期待される。

〔研究の方法〕

○対象となる患者さん

1995年1月-2024年12月までの期間中に北海道がんセンター消化器外科又は北海道大学病院消化器外科 I で転移性肝臓に対して肝切除を受けられた患者さん

○利用するカルテ情報

＊2025年12月31日までの診療情報を収集します。

診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織診断、他）後治療、予後、再発状況など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○送付方法

上記のカルテ情報は、解析のために電子的配信で北海道がんセンターへ送付します。

○具体的な研究内容

2025年1月30日（第1.0版）

転移性肝癌肝切除手術を受けられた患者さんの手術療法、化学療法、放射線療法、緩和ケアなどの治療の実地臨床での有効性と安全性を検証し、より良い治療戦略について考察する事を目的とします。治療実施内容と診療情報を集積し、治療結果や有害事象について解析します。診療情報は診療録より収集します。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

実施許可日(情報の利用、提供開始：2026年1月頃)～2027年3月31日

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は 2026年 1月 31日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 消化器外科 I

担当医師： 旭 火華

住所：〒060-8648 札幌市北区北14条西5丁目

電話：011-706-5927

FAX：011-717-7515